

2025年度 支部長研修会開催される!



今泉会長あいさつ

各支部長の皆さん、休日のご参集ご苦労様です。また、日頃から各支部におかれての同窓会活動、誠にありがとうございます。遠方の支部長さんは、久々に母校を訪れたと

9月13日(土)、日専校の多目的教室にて2025年度支部長研修会が開催された。日専校での開催は2016年以来、9年振りの開催であった。異例の猛暑日が続いた夏の暑さを引きずるような蒸し暑さを残した中、各支部長と役員を含めて39名が参加した。

今泉会長から日専校の近況の紹介、松浦代表副会長挨拶、集合写真撮影後に昼食、支部長自己紹介、寮と実習棟の見学、事務局から役員マニュアルと同窓会活動についての説明、そしてグループ討議を行い、各支部との意見交換および発表を行った。意見交換では、各グループが各々の支部の置かれている状況から意見を述べ合い、最後に討議結果を発表した。同窓会のみならず、会社や日専校の問題にもつながるような深い内容であり、参加者一同で情報を共有することが出来た。討議会終了後の第二部は、かみすわ山荘へと会場を移して懇親を深め、最後には校歌を声高らかに歌い上げ、全日程を無事に終了した。



第471号

2025年11月21日発行
日工同窓会広報委員会
編集責任者

瀧澤 之靖 敦
発行人 細金 敦

日工同窓会事務局
日工同窓会館
〒317-0077
日立市城南町5丁目14番13号
TEL (0294) - 21-5237
FAX (0294) - 21-5241
E-mail:
dosokaij@net1.jway.ne.jp
http://nikkoudousoukai.net/

印刷所
大成印刷株式会社

今号の主な内容

| | | | | | | | | | |
|-------------------|------|----------------|----------|-------------|-----------|-------------------|-----------|-------|---------------|
| 2025年度支部長研修会 1～2面 | 3面 | 4面 | 5面 | 6面 | 7面 | 8～11面 | 12～16面 | 17面 | 18面 |
| 工師登壇、プロテリアル | 社内表彰 | 第63回技能五輪全国大会結果 | 各支部納涼祭開催 | 那珂支部実習生歓迎行事 | 神奈川支部秋の行事 | 旧東海支部報告会、日高支部イベント | 高校サッカーOB戦 | 学校だより | 本部会員の頁 |
| | | | | | | | | | 日専校歴史写真、会員の消息 |
| | | | | | | | | | 日立理科クラブ会員募集 |
| | | | | | | | | | 編集後記 |

いう方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

支部長の皆さんが一堂に会した折角の機会ですので、この場を借りて、私からは、現在、製作所本社で取り組んでいる「モノづくり人財強化プロジェクト」の状況について、簡単にご報告します。このプロジェクトは、今年度、「今後のモノづくり人財をどう育成して行くか？」をテーマに、本社の人財部門・日専校も所属しています。モノづくり戦略本部として、グループの教育機関である日立アカデミーの三者合同で立ち上げたプロジェクトです。プロジェクトのオーナーは、モノづくり部門管

掌常務の久米さんと人財部門掌常務の瀧本さんのお二人です。「カリキュラム」「環境」「キャリアパス」の3つの観点で、モノづくり人財の教育システムの再構築を検討しています。

まず、「カリキュラム」に関しては、「匠の技術を継承しつつ、モノづくりのデジタル化・グローバル化を推進し、スマートファクトリーを実現」できるような、グローバル基準で最新の技術を身に付けられるカリキュラムを導入します。

次に、「環境」に関しては、「最新の生産設備やITインフラを導入し、外国人の実習生を受入れることが出来るように、更には、現在の日立共創プロジェクトとも地域連携出来るように」教育環境を整えます。

最後に、「キャリアパス」に関しては、「モノづくりに関する最高の仕事・キャリアブランドの確立」を目指します。

こういった中で、日専校のカリキュラムに関しても、現状の授業時

(2頁へ続く)



同窓会ホームページはスマートフォン等からも上記のQRコードを読み取るだけで簡単にアクセスが可能です!

(1頁の続き)

間配分を見直して、デジタル関係の最新授業を追加する新規カリキュラムに、来年26年度から改訂します。

もちろん、従来通り「匠の技術の継承は必須」ですので、これまでの電気・機械・溶接の実習時間は確保した上で、新たなデジタル関連の学習時間を捻出して学べるようにします。

そのために、まずは先生たちに学んでもらう必要がありますので、現在これらを学ぶことのできる先進的なリーディング企業の外部向け研修を受講してもらっていますし、生徒も何名かお試して派遣する計画です。目指すのは「デジタル武装した匠の育成」です。

どうか、支部長の皆さんにも、新たな日専校の動きにご注目いただければ、と思います。

本日の研修会が、日頃の同窓会活動に関する課題を共有し、今後の活動が更に活発なものとなる契機になることを期待しています。

松浦代表副会長あいさつ

本日は、休日のお忙しいところ、支部長研修会にお集まりいただき有難うございます。

なかなかこのように、支部長が一堂に会する機会も有りませんので、本日は活発な議論と、交流を致したく、宜しくお願いします。

また今回、母校の日専校の協力をいただき、学校での開催となりました。

支部長研修会ですが、毎年開催しており、日専校でも定期的に開催しておりましたが、コロナ過以降、オンラインや同窓会館、日立シビックセンターでの開催としておりました。本日は、学校見学も予定しております。卒業以来の訪問の支部長もおられると思いますが、寮・実習場も時代に合わせた変化と、当時のままが混在しておりますので、是非ご覧ください。

また、2018年度が最後となっております。第2部の宿泊懇親会も、6年ぶりに実施致します。是非、支部長さん間及び本部役員との交流を深めたいと思います。

今回の支部長研修会ですが、事前にアンケートを取らせていただいた結果、様々なお悩みを抱えている事がわかりました。

テーマ討論

【Aグループ】



大平 英樹氏
(76 卒・建機)

テーマ…現在の会費は若手会員にとって負担となっていないか
・各支部、若手からの金額の不満は

少ない

・同窓会に入りたくない人が一定数いる

・同窓会の意義や活動内容を会員が伝える場をつくる

・日専校から意義や活動内容を伝えてほしい

・会費は給与天引きだと不満が起きにくい

・会社に入っている若手が同窓会を辞めたい(会費を払いたくない人がいる)



Aグループ討議

【Bグループ】



鬼澤 泰彦氏
(75 卒・土浦)

テーマ…同窓会を脱退したい若手会員が増えている。支部・支部長

はどう対応するべきか

・全員からアンケートを実施

・話があれば柔軟に対応する

・近くの先輩から声掛け、コミュニケーションをとり

・関係をよくする

・本部に納めている会費の一部は学校の為に貢献できている事を説明して理解してもらう



【Cグループ】



内田 勝章氏
(68 卒・日立パワー)

テーマ…本部役員、支部長の悩みについて

・新人が入らず、退職者が増えており会員が減っている

・若手・現場作業者の役員活動の難しさ

・人数が多くコミュニケーションが不足

・会社が日立Grから離脱し、会員のモチベーションの低下



支部長研修会を振り返って

去る9月13、14日にかけて25年度の支部長研修会を開催し、総務企画委員会として振り返ってみました。

第1部は支部長からリクエストの多かった母校での開催、第2部は今回初めて利用する高鈴山の麓にあるかみすわ山荘で開催し、総勢42名が参加しました。第1部では久々に訪問した母校の見学から始まり、本部や支部で抱える共通課題についてのグループ討議を実施しました。

グループ討議でAグループは、「現在の会費集金は若手にとって負担となっていないか?今後の会費集金の方向性について」について議論が交わされました。会費の集金方法は支部ごとに様々で給料天引きできる支



学校見学風景

(3頁へ続く)

(2頁の続き)

部、会計担当が個別に集金する支部があり後者の方法で行うと会費を支払うことに抵抗がでる者に対してどのように対処したらよいかという議論となりました。集金した会費は、母校の活動支援、同期会・支部行事の支援、会報発行等に活用されていることを会員ひとりひとりが理解できるようにPRしていくことが重要であると改めて認識させられました。

Bグループは、「同窓会を脱退したいという若手会員が増えてきている。申し出があった際に支部長としてどのように対応しているか？」については、脱会という相談に関しては、コミュニケーションと丁寧な説明が必要で、頭ごなしにNGではなく我々は、脈々と先輩会員達から支援を受けてきた活動であることを脱退希望者に活動の背景、活動意義を丁寧に説明し、次に続く後輩たちのために支援を続けていくことの重要性を継承していくことが大切であると認識しました。

Cグループは、「本部役員、支部長の悩みについて」というテーマで約1時間グループごとに討議を重ね報告会を実施しました。支部長としては現役会員の退会相談、支部に新人が入る計画がなく自然減で会員が減少していく状況、人数が少ない中の運営役員の選出等、支部の規模の大小にとらわれず共通の悩みごと

を共有することができました。

これらのグループ討議・発表会を通して、参加者は多種多様な考え方を学ぶ機会となりました。テーマ毎に決して正解があるわけではないのですが、同じような境遇で頭を痛める支部長や本部役員にとっては有意義な時間になったものと感じました。

第2部は会場をかみすわ山荘に変え、B・BQとお酒の力をかりてグループ討議では語りつくせなかった話題に対しても本音で語りあうことができました。

その中で、本部役員の力石さんが、自前で準備した食材を駆使して、朝晩と青森県のソールフードであるせんべい汁を調理してくれ、皆格別の味を堪能することができました。宴も終わり順次お風呂に入り、第3部に突入。和気あいあいの卓球、時間と飲み物が続く限り延々と同窓会活動について語りあえたのは、価値があったと考えます。本間信宏(78卒)

技能に生きる(工師登場)

『探求心をもって取り組む大切さ』

(株)日立ハイテク

モノづくり統括本部那珂地区生産本部
製造部 電子顕微鏡製作課綿引 正則氏
(74卒・那 珂)

この度、栄えある工師を拝命し、身に余る光栄とともに、その重責に身の引き締まる思いです。これもひとえに、事業所幹部をはじめ、長きにわたりご指導いただいた同窓会の皆様、職場の上長、そして諸先輩方と共に業務に励んできた職場の皆様のお力添えによるものであり、心より感謝申し上げます。

私は一九八九年に日専校を卒業し、当時の那珂工場に配属されて以来、一貫して電子顕微鏡の製造に携わってまいりました。入社後、作業に慣れてきた頃、日専校の先輩から「この作業は何のためにしているのか分かってるか」と問われたことが、今でも記憶に残っています。図面通りに作業するだけでなく、「なぜその作業が必要なのかを理解して取り

組むことが大切だ」と叱咤激励をいただきました。この言葉を胸に、装置に携わる際には常に「なぜ必要か」を考え、分らないことは設計者などに積極的に尋ねることで知識・知見を広げ、多くの新製品の開発やお客様先での装置据え付けに携わることもできました。近年、AIや自動化などのIT技術が急速に進化していますが、その根幹にあるのは、これまで培ってきた我々の技能です。

今後、我々に課せられているのは、匠の技の伝承とともに、目には見えない技能を「見える化」し、自動化やAIの活用へとつなげるための定義を行うことだと考えます。

これからも同窓生とともに進化を続け、社業の発展のため、次世代を担う人材を育成し、世界一の「モノづくり事業所」を目指して邁進してまいります。

プロテリアルグループ・アワード

『2年半かけた夢の実現』

7月23日、品川プリンスホテルにて社長賞の授賞式が開催されました。国内外の事業所から80組約500人のエントリーの中、鈴木光彦氏(78卒・日高)のチームが見事21件に選ばれ

ました。

内容は、自動搬送ロボット導入による『歩かない化』の実現。どの現場でも似たような問題があるかと思えます。付加価値のある作業を生み出すために上長のバックアップと諦めない現場の思いが構想から2年半、着工から約11ヶ月かけ実現しました。



表彰を受ける鈴木氏(左端)

今回の受賞は現場が中心となり、妥協することなくアイデアを出し、改善を続けて成し遂げた成果です。作業者が主体的にこの活動に関わり、徹底的に「歩行のムダ削減」というテーマに挑んできました。

プロテリアルは「われら日立の底流たらん」魂が生んだ功績です。

第63回技能五輪全国大会で大健闘

2025年10月17～20日にかけて愛知県の国際展示場などで開催され、同窓生から42名が参加し、銀賞・3個、銅賞・6個、敢闘賞・9個の獲得となりました。

◎銀賞

工場電気設備



田中 秀貴氏
(109卒・大みか)

プラスチック金型



北條 陽氏
(109卒・佐和)

電気溶接



黒田 大貴氏
(109卒・笠戸)

◎銅賞

旋盤



松岡 駿輝氏
(108卒・那珂)

メカトロニクス



川部 直生氏
(108卒・那珂)

構造物鉄工



伊藤 光希氏
(108卒・国分)

フライス盤



副島 蓮氏
(109卒・那珂)

プラスチック金型



椎名 慧音氏
(110卒・多賀)

◎敢闘賞

電気溶接



佐藤 拳氏
(108卒・水戸)



大内 雄斗氏
(108卒・水戸)



佐藤 琉氏
(109卒・日立)



益山 隼氏
(110卒・笠戸)

プラスチック金型



三代 健人氏
(109卒・多賀)

メカトロニクス



鴨川 生氏
(109卒・那珂)



松岡 怜良氏
(109卒・那珂)



小口 心隠氏
(109卒・水戸)



海老沼 凜乙氏
(110卒・水戸)

電子機器組立て

第63回技能五輪全国大会取材して

今年も10月17から20日まで愛知県国際展示場など15会場で、全42職種競技が行われた。

技能五輪会場での取材は、4度目であるが会場の熱気は回を重ねる毎に増している気がする。スポーツのように大声での声援は無論出来ないが各職種には職場の上司、同僚、家族が応援に駆けつけている。

各選手には聞こえないと思うが戦っているのは、越えるべき相手は『自分』なのだろう。瞬きを忘れて選手動作を追っている自分に気が付いた。



一流家具職人の「(有)秋山木工」
秋山敏輝社長と筆者

閉会式の会場は、独特の雰囲気包まれていた。今回は介護職がエキシビジョンとして開催され、来年度からは正式種目として競技される。今後の更なる高齢化社会を視野に入れていることが伺える。

AIの進化により『人の技』は今後求められなくなるのではと思う反面、AIを融合させ、技能の真の価値を次の世代に繋げていくことが我々の使命と感じた。

五輪出場を果たした選手たちはすべての『力』を出したのだだろうか。まだ若い彼らが精神的にも肉体的にも疲弊しながら、それでも前に進んできた苦労は安易な形容詞では語ることなどできない。

残念ながら金賞として名前を呼ばれた選手はいなかった。涙を流す選手が印象的だった。涙の理由もそれぞれであろう。

選手たちには結果を問わず心からの労いと敬意を表したい。また今年も様々な思いを胸に帰路に着く。

鈴木 光彦 (78卒・日立)

各支部納涼祭り開催!!

「日立支部」

令和7年8月22日(金)、日立支部では、夏の夕暮れにふさわしい落ち着いた雰囲気の中、納涼ビアパーティを盛大に開催しました。

本行事は夏の恒例であり、久方ぶりに再会した会員が笑顔を交わし、近況報告や懐かしい思い出を語り合う場となりました。

当日は、日立支部鈴木支部長、山崎総務部長、ならびに日立労組日立国分支部の栗原執行委員長よりご挨拶を賜り、それぞれの立場から同窓会活動への期待と激励のお言葉を頂戴いたしました。



さらに、今泉同窓会会長からは現在の日立専科の現状や今後の予定にも話題に上

り、DX推進や従来のものづくり分野に加え、工事施工監理など新たな職種にも対応する教育環境整備の方針が含まれており、幅広い分野で活躍できる人財育成をめざす構想が伝えられました。これにより、さらなる日立専科の発展の始まりを感じさせ



る極めて意義深いご挨拶をいただきました。

また、会員の職場の上長、衆議院茨城県議会、日立市議会、東海村議会の議員

団にもご臨席いただき、会場は一層華やかな雰囲気を呈しました。加えて、業務や出張の合間を縫ってご参加くださった方々のご配慮にも深く感謝申し上げます。

なお、近年は定年退職や職場異動等により会員数が減少傾向にありますが、日立製作所発祥の地に根差す同窓会として、日立支部は今後も精力的に活動を継続し、会員相互の絆を一層強化してまいります。

後藤 和美 (79卒)

「佐和支部」

9月12日と19日に佐和支部最大イベントである納涼ビアパーティを、水戸駅前ホテルテラスザガーデンで開催しました。

夜勤者にも配慮するために例年通り2週に分けて開催し、日専校・同

窓会本部・会社幹部・組合ほか多数のご来賓の方々をお招きして、各回とも約100名の同窓生の皆さまに参加いただきました。

例年とは開催会場が異なるため、参加人数の減少や運営上のトラブルが懸念されましたが、事前に幹事ミーティングやホテルスタッフとの綿密な打ち合わせを重ねることで、2週とも大きな問題もなく、例年通り大盛況のビアパーティとなりました。

普段は所属や勤務場所が異なり、なかなか顔を合わせる機会の少ない



変ではありましたが、皆さまの笑顔を見ることで幹事一同新たな活力を得ることができました。

佐和支部納涼ビアパーティ！来年も企画させていただきます！

高野 利幸 (77卒)

「那珂支部」

8月6日(水) ホテルクリスタルパレスにて毎年恒例の那珂支部納涼ビール祭りが開催された。当日は、日立ハイテク、グループ会社及び日立同窓会本部を含め多くのご来賓の方にも参加いただいた。日専校からも今泉会長、HIT担当の目良先生に参加いただき、総勢173名と過去最

(6頁へ続く)



(5頁の続き)

大規模での実施となった。

開催にあたり井坂支部長(76卒)

より挨拶があり、ビール祭りを開催できることへの感謝と、同窓生同士の繋がりを活性化していきたいとの熱い思いを語った。乾杯の音頭は、今年度工師任用となった綿引氏(74卒)の発声で懇親がスタートした。

那珂支部は那珂サイト・マリンスイトを始めとした生産拠点が周辺に点在しており、頻繁に拠点間の他職場と交流するのは難しい面がある。会場内では、久々の再会を果たした会員同士が思い思いの胸の内とビールを口にしながらかきい話題で大いに盛り上がりつつあった。新入会員紹介では、今年度入社となった110卒会員に自己紹介をしてもらい、皆緊張している様子であったが、個性豊かな面々が「おぼんです」と元氣な挨拶を行った。恒例の抽選会では、豪華賞品の当選者が発表されるたびに喝采が上がり、一番の盛り上がりとなった。

最後にひたひたなか市議会議員である鎌田氏(74卒)の指揮で全員が肩を組みながら日専校校歌・寮歌の合唱を行い、境谷副支部長(80卒)の締めで祭りに幕を下ろした。運営に当たった支部役員は、行事実施に当たり苦労や不安も多くあったが、笑顔で散会する会員を見て本会が無事終了できたことをうれしく感じた。

また来年も多くの参加者を募り盛大に開催できることを楽しみにしている。
大内 詩史(101卒)

那珂支部 実習生歓迎 バーベキュー大会開催される

10月3日(金) ホテルクリスタルパレスにて10月から配属となった実習生の歓迎バーベキューを実施した。参加者は実習生17名、今年度入社の110卒会員、支部役員関係者に加え、日専校からはHHT担当の工藤先生、HMS担当の高橋先生にもご参加いただき、総勢44名での実施となった。最初井坂支部長(76卒)より実習生に向けて歓迎の挨拶、高橋先生からは学校の近況報告と実習生を受け入れてくださる配属先の先輩たちに向けて感謝の言葉をいただいた。



今年度入社の崎川氏(110卒)からは、実習生に向けて「これから職場で

活躍するために、技術だけでなくコミュニケーションが大切。まずは話しやすい1つ上の先輩に相談してみてください」と実

践的なアドバイスが送られた。また、自身も「日立ハイテクのモノづくりを支える人材として、先輩方の良い後輩になれるよう努力していきたい」と力強い決意が語られ、会場は温かい拍手に包まれた。



当日は秋晴れの爽やかな天候に恵まれ、屋外でのバーベキューは終始和やかな雰囲気。各テーブルに焼き場が設けられていたため、参加者それぞれが自分たちのペースで調理を楽しむながら交流を深めるスタイルとなった。実習生も積極的に焼き場に立ち、先輩と協力して食材を焼き、初対面ながらも趣味や学校生活の話題で盛り上がり、自然と笑顔が広がっていった。

自己紹介では、所属していた部活動や技能五輪に挑戦することへの意気込みなどを聞くことができた。緊張しながらも「よろしく願いします!」と元氣な挨拶をする姿に、日専校らしい礼儀と意欲が感じられた。

彼らを11卒会員として迎え入れる日を、支部一同楽しみにしている。
小池 七海(103卒)

神奈川支部 秋の行事開催!!

10月18日(土) 神奈川支部の秋の行事を開催しました。
この行事はご家族の方も気軽に参加できる行事として企画し会員13名、会員家族5名の計18名で実施しました。



行事の中では会員の近況報告や、お子さまにも楽しんでいただけたらというビンゴ大会も用意し、終始和やかな雰囲気で開催することができ、会員のみならずご家族含めて親睦を深めることができました。

大内 秀芳(72卒) 記

「近況報告会」開催！

A black and white group photograph of 15 people, likely the members of the 'Shinryu' (新龍) group, posing in a room. They are arranged in two rows, with some standing and some kneeling. A banner with a dragon logo is visible in the background.

今回参加できなかった方、過去にご一緒した方も、ぜひ次回はご参加ください。次回は2026年11月14日(土)～15日(日)、同じ御前山青少年旅行村での開催を予定しています。笑いあり、美味あり、音楽あり、そして何より仲間とのつながりを再確認できる2日間を、また皆さんと分かち合えることを心から楽しみにしております。

秋のちゃんこ鍋

本間 明宏（76卒）

秋晴れの11月8日、今年も支部メ
インイベントが開催された。事前の
企画からの展開を全会員が待ちわび
ていた。今年は多賀に古くから店を
構え、絶品ちゃんこ鍋が名物の「相
撲茶屋松光」が会場であった。

日高支部は近年、若手の会員の参加率が高い。嬉しいことではあるが若手は「食べる・飲む」量が凄

高校サッカーOB戦

要だ。

乾杯を終えれば、そこは戦場だ。真剣な顔で鍋をよそい、ビールで流し込む。あちらこちらで談笑する顔が気に入っている。

齋藤 太（88卒・日高）

要だ。



の制限
られた
会費で
満足度
の高さ
が求め
られる
企画委
員とし
ては苦
労する
ところ
である。
毎回

運良く曇り空となり突き刺すような暑い日差しを凌げた絶好のコンディションで迎えることができた。

参加校は、日立一高、日立工業高、多賀高校、日立商業高、日立北高、茨城キリスト教高校、明秀日立高校、そして科技工日立（日専校）である。試合は15分ハーフで行われ、参加者が少ない参加校については合同チームを編成し、試合は15分ハーフで行われ、各チーム2試合で進出した。



いざ試合が始まると、若かりし頃とは違う重い身体を何とか動かし、ボールを追いかける。各々が四苦八苦の連続であった。

もパスが回り、最終的には得点につながりと、終始はつらつとしたプレーで楽しむことができた。

結果は左記

VS 日立工業 2-0 (勝)
VS 日立商業・キリスト高の合同チーム

学校だより

2025年8月から10月までの 資格試験一覧

この期間に日専校生が取り組んだ資格・検定試験の一覧を記載する。

●8月23日 2級電子機器組立学科

(3電気科)

●9月2日 2級電子機器組立実技

(3電気科)

●9月23日 QC検定4級

(3年希望者)

●10月16日 リスニング検定

(全生徒)

●10月20日 溶接JIS検定

(2溶接科)

トヨタ工業学園との定期 交流会で活発な意見交換



活発な意見交換

7月17日から18日、トヨタ工業学



トヨタ工業学園交流会

園との交流会を実施した。トヨタ自動車学校の、日立製作所の学校。日本を代表する企業内学校で、それぞれの強みを共有する交流会となった。双方の更なる成長につながる機会作りを目的とし、職場で即戦力になるために何が必要かを考え、日常の取り組みにつなげることを目標とした。

3月のトヨタ工業学園での交流会から具体的に取り組んできた内容の共有と、振り返りを実施した。グループディスカッションでは、生徒会、寮役員、部活リーダーと3つのカテゴリーに分かれ活発な意見交換をした。次につながる新たな目標を決め、日常生活での実践につなげていく。今後も定期的に交流会を重ねていき、日専校生としての「あるべき姿」に近づいていきたい。

3電気科 菅野 昂流

私がトヨタ工業学園との交流会に

参加するのは今回で2回目です。前回立てた目標に対して自分たちがどのように実践できたかを振り返り、成果や課題を確認する良い機会となりました。お互いに意見を出し合い自分たちでは気付けない新しい視点を得ることができました。お互いの学校を更により良いものにするために、強みを成長させ、課題を強みに変えていくための取り組みを具体的に考え合うことができました。2度の交流会を経て、自分たちにはないトヨタ工業学園の強み、自分たちが持っている日専校の強みを再認識するとともに、お互いに新しい発見や、刺激を感じることができたことは大きな成果です。3年生にとって今回の交流会が最後となりましたが、新体制の2年生にしっかりと引き継ぎ、これから更に交流会が活発化していくことを期待しています。

3年生が就業体験

異なる分野の仕事を経験

7月28日から8月6日にかけて3年生総勢24名の生徒が校外活動を行った。長野県の軽井沢プリンスホテル、アミューズアドベンチャーで12名(男子8名、女子4名)、新潟県妙高市のLOTTIE HOITEL Araiで12名(男子12名)が就業体験を実施した。軽井沢プリンスホテルでは、クロークの受付、お客様の送迎、荷物の受け取り・運搬など。LOTTIE HOITEL Araiとアミューズ

アドベンチャーでは、ツリートレッキングのハーンズ付け、アクティビティのサポート業務、トレッキング周辺の安全確認作業を体験した。



ホテル、レジャー施設での就業体験

3年機械科 大橋 由依

今回の就業体験で感じたことは、スタッフの皆様の気配りやコミュニケーション能力の高さです。お客様への対応を常に行っているながらも、監視しているように感じさせず、困っているときにすぐに対応できる態度には学べべき点が多くありました。混雑時でも焦ることなく、すべてのお客様に対して丁寧に対応し、待ち時間にもお客様と積極的にコミュニケーションをとる、笑顔で安心感を与えていた点です。お子様が不安そうにしていたら励ましたり、安心させたりと、お客様の気持ちに寄り添う姿勢は素晴らしいと感じました。ア

若年者ものづくり競技大会

茨城県庁に入賞報告

8月2日および4日に開催された第20回若年者ものづくり競技大会において、本校からは、旋盤職種に3年機械科の嶋田龍聖、フライス盤職

(9頁へ続く)



茨城県庁表敬訪問

(8頁の続き)

種に同じく3年機械科の五月女大輝、メカトロニクス職種に3年電気科の金長真杜・木田将臣ペアの計4名が出場した。大会には、全国の職業能力開発施設および工業高等学校に在籍する20歳以下の学生・訓練生358名が参加し、15職種にわたってポリテクセンター徳島、ポリテクセンター広島、あなぶきアリーナ香川、その他5会場にて技能を競いあった。本校出場者のうち、五月女大輝がフライス盤職種で銅賞(第4位)金長真杜・木田将臣ペアがメカトロニクス職種で敢闘賞(第4位)を受賞した。受賞者には8月27日に茨城県職業能力開発協会より表彰状およびメダルが届けられ、9月10日には産業戦略部長・次長への報告も行われた。出場者たちは、今後の技能五輪大会出場を目指してさらなる技術向上に努めており、今後の活躍が期待される。

3年機械科 五月女 大輝



今回の大会では、「銅賞」を受賞することができました。目標としていた金メダルには届きませんでしたが、自分の持てる力をすべて出し切り、その結果が形となったことを素直に嬉しく思っています。このような結果を残すことができたのは、日々ご指導くださった先生方をはじめ

このたびの大会では、ご指導くださいました先生方をはじめ、日工同窓会の皆様、そして多くの方々の温かいご支援により、「敢闘賞」を受賞することができました。目標としていた第1課題を標準時間内に提出でき、これまでの練習の成果を発揮できたことを大変嬉しく思っています。一方で、第2課題は提出に至らなかったものの、この経験が自



競技中の五月女さん(フライス盤職種)

め、日工同窓会の皆様、そして応援・ご支援いただいた多くの方々の支えがあったからこそだと深く感じています。心より感謝申し上げます。今回の経験を今後の技能五輪へとつなげ、次こそは金メダルを目指してより一層努力してまいります。

3年電気科 金長 真杜



このたびの大会では、ご指導くださいました先生方をはじめ、日工同窓会の皆様、そして多くの方々の温かいご支援により、「敢闘賞」を受賞することができました。目標としていた第1課題を標準時間内に提出でき、これまでの練習の成果を発揮できたことを大変嬉しく思っています。一方で、第2課題は提出に至らなかったものの、この経験が自

身の大きな成長につながったと感じております。今後はこの経験を活かし技能五輪へ挑戦し、良い結果を出して職場に貢献できるよう、引き続き努力を重ねてまいります。

若年者ものづくり競技大会では、「敢闘賞」を受賞することができました。ご指導くださった先生方、そして温かい応援をくださった同窓会の皆様をはじめ、全ての方々に心より感謝申し上げます。大会では、今できることを冷静にやり抜く」という目標を掲げ、最後まで自分と向き合うことができました。第2課題を提出できなかった悔しさは残りますが、この経験から得た学びは計り知れません。この悔しさを胸に、次の「技能五輪」では、今回の反省を必ず活かし、さらに良い結果を目指します。そして、この大会で得た経験を糧に、社会で活躍できる人財になれるよう、これからも日々精進してまいります。本当にありがとうございました。

3年電気科 木田 将臣



若年者ものづくり競技大会では、「敢闘賞」を受賞することができました。ご指導くださった先生方、そして温かい応援をくださった同窓会の皆様をはじめ、全ての方々に心より感謝申し上げます。大会では、今できることを冷静にやり抜く」という目標を掲げ、最後まで自分と向き合うことができました。第2課題を提出できなかった悔しさは残りますが、この経験から得た学びは計り知れません。この悔しさを胸に、次の「技能五輪」では、今回の反省を必ず活かし、さらに良い結果を目指します。そして、この大会で得た経験を糧に、社会で活躍できる人財になれるよう、これからも日々精進してまいります。本当にありがとうございました。

外となり、悔いの残る結果となってしまいました。約2ヶ月間の訓練期間中には、納得のいく課題が組めた日もあれば、思うように点数が伸びず、悩む日も多くありました。本番でも自分の実力を十分に発揮できず、悔しさばかりが残る大会となつてしまいました。しかし、この悔しさを糧に、次の目標である技能五輪



競技中の金長・木田ペア(メカトロ職種)



競技中の嶋田さん(旋盤職種)

能五輪」では、今回の反省を必ず活かし、さらに良い結果を目指します。そして、この大会で得た経験を糧に、社会で活躍できる人財になれるよう、これからも日々精進してまいります。本当にありがとうございました。

3年機械科 嶋田 龍聖



入賞を目標に訓練に励んでまいりましたが、結果は賞

で成果を出せるよう、今後も努力を重ねてまいります。最後になります。これまでご指導くださった先生方、日工同窓会の皆様、そして応援・ご支援いただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

部活動リーダー研修会
新たな体制で活動開始



部活動リーダー研修会

8月29日、2年生以下の新リーダー(部長・副部長・生活指導)が参加し、部活動リーダー研修会が行われた。グループ討議では「リーダーとは何か」「どんなリーダーになりたいか」を話し合い、仲間の意見を尊重し、組織を意識した行動が大切だと学んだ。今泉校長からは「チーム力を高めるために」と題して、協力の重要性の話があり、その後はスライドを

(10頁へ続く)

(9頁の続き)

用いて各部の活動目標、課題と克服方法、リーダーの自覚を整理・発表した。新体制で伝統を継承しつつ改善を重ね、より有意義な学校生活や部活動を築くことが期待される。

2年電気科 玉野 輝晟

(考動アクション部活動委員長)

この度、部活動委員長となりました玉野輝晟です。8月29日に部活動リーダー研修会に参加させていただきました。部活動リーダー研修会では各部のリーダー(部長、副部長、生活指導)が他部活のリーダーとグループになりリーダーの定義やボトムアップ理論などの様々な議題について話し合いました。研修会の後半には各部でスライドを作り、今後の目標、現状の課題、活動計画などについての発表を行いました。今回の研修を通して、各部の現状や目標、リーダーとしての立ち振舞いについて考える良い機会になりました。今後は今回の研修会を通して学んだことを活かして部活動をより良いものに行きたいと思っております。

都市対抗野球応援**6年ぶりに東京ドームへ**

第96回都市対抗野球大会が8月28日から開幕し、日立製作所野球部の初戦は9月2日、福岡市代表の西部ガスと東京ドームの舞台で激闘を繰り広げた。



都市対抗野球全校応援(東京ドーム)

日専校の都市対抗応援は6年ぶりとなり、現生徒は初めて東京ドームでの都市対抗応援となった。今回、電気科電子コースは技能組立て技能検定があり残念ながら参加がかなわなかったが、総勢208名の応援団で試合に挑んだ。

日立製作所野球部は序盤から劣勢な試合運びで、チャンスすら作らせてもらえない状況だったが、日立名物の大応援団による「ウェーブ」やタオルを振り回す「モンキーターン」を披露し、球場全体の一体感を引っ張る形で日専校生徒が躍動すると、終盤の8回裏に2アウト満塁のチャンスが訪れた。しかし、最後まで流れを掴みきれず、日立製作所野球部の初戦突破はできなかった。試合後、生徒たちは悔しさが溢れ、試合の分析や応援の反省を交わしながら日専校へと帰校した。今回の都市対抗で日立製作所の一体感を目の当たりにし、良い経験ができた。来年こそは1つでも多く東京ドームで応援できるようこれからも日立製作所野球部を応援したい。

寮委員研修会を開催**2年生リーダーに引継ぎ**

9月24日午後から寮食堂にて開催された本研修会には10月から始まる3年生の工場実習に伴い、現2年生の寮生から新たに選出された11名の新委員と18名の旧委員が参加した。研修会のプログラムは以下の通り。

- ①校長、寮管理グループ長挨拶
- ②新委員挨拶
- ③旧委員による活動実績報告
- ④新委員によるグループ討議(活動スローガン、および全員リーダー制における役割決定)
- ⑤各リーダーによる活動指針発表

新委員はグループ討議を通して、更に良い寮にするための活発な意見交換を行い、活動スローガンを「自慢できる寮 笑顔でつくる毎日」と決定した。

各委員には、委員長を統括役とし、安全衛生、食事、女子生活など10種類のリーダー的役割が与えられ、各々が活動方針や具体的な活動内容を決め全員で共有できた。

今後、新委員を中心に全寮生が考動し、より良い寮を創りあげることが期待する。

2年電気科 海老澤 瑠波

(考動アクション寮委員長)

今回、寮委員研修会に参加し、寮生活の中で委員としてどんな役割や責任があるのかを知ることができました。委員長として、全体を常に見渡し、いろいろなことを考えながら判断していく必要があると感じました。また、意見をまとめるためには日頃からのコミュニケーションが大切で、協力し合うことで課題を解決できることを学びました。さらに、先輩方が築いてきた取り組みや雰囲気の大切さを改めて知り、それを受け継ぎながら新しい工夫を加えていくことの必要性を感じました。今後は、この研修で得た学びを活かし、みんなが思いやりを持ち、お互いに気持ちよく生活できるような寮づくりをめざして、委員長として責任を持ち、積極的に考動していきたいと思っております。



寮委員研修会

3年生が退寮**寮内の部屋替え実施**

9月24日の午前に日専寮の部屋替えが行われた。この日は3年生の工場実習に向けて事業所毎や退寮して新天地への準備の部屋替えである。日専寮では年に3回の部屋替えがあり、6月にはチームワーク向上を目的に部活毎、3月には新たな仲間となる1年生の入寮に向けての部屋替えである。寮生約200人が暮らすこの大きな寮にとって、この日はまさに一大イベントである。部屋から運び出されるのは、教科書や制服だけではない。汗と涙が染み込んだユニフォーム、趣味全開のぬいぐるみや推しのグッズなど多彩だ。教員たちが部屋を巡回し、荷物が運び出された後の部屋の清掃状況を厳しくチェックする。要領の良い生徒は最小限の荷物でテキパキと移動を済ませて時間通りに終わらせている。部屋替えは単なるモノの移動だけではない。新しい出会いと2年生の新体制の寮委員のもと新たな青春の物語が始まる。寮担当職員として5Sの徹底を願う。

3年生が工場実習前に研修**18事業所で実習開始**

3年生は、日専校における教育プログラム最終仕上げとして、後期より就職が予定されている事業所において約半年間の『工場実習』を実施(11頁へ続く)

(10頁の続き)

施している。工場実習を前に、9月25日から30日の4日間、社会人としての心構えの習得を目的とした研修を開催した。校長訓話をはじめ、生徒支援や安全衛生に関する講話、消費生活センター様による悪徳商法に関する講演、実習中や就職後に役立つ3つのテーマを題材にしたグループ討論および発表、自炊のヒントになる食育コンテスト受賞者の発表などにより、実習や就職に向けた意識の向上を図ることができた。実家からの通勤が困難な一部の3年生を除いた寮生は、2年半を過ごした日専寮を退寮した。3年生54名は、10月2日より18事業所において工場実習を開始した。



工場実習前教育

技能五輪全国大会(電気溶接)3年溶接科 塙和樹さん出場
10月10日、第63回技能五輪全国大会電気溶接職種のAグループに3



大会前の壮行会

年溶接科の塙和樹が茨城県代表として出場した。競技会場は千葉市の高度ポリテクセンターで行われ、競技日の表情は緊張している様子はなく、落ち着いているように感じた。準備をしている時も、事業所選手(日専校卒)と会話をしながら、程よい緊張感で過ごしている様に見えた。競技が始まると、さすがに緊張している様子ではあったが、こちらが想定していたよりも落ち着いて作業出来ていた。作業時間は、普段より4分早かったが、大きなミスはなく第1課題、第2課題、第3課題を製作し、第4課題の組立途中で午前の作業を終えた。午後からの作業でも、冷静に溶接を行い、課題の製作を終えた終了後は、達成感のある表情を見せており、「多少のミスもいつも通り」、「自分の実力は出せました」と話していた。10月16日に行われた耐圧試験では2MPaでの漏れ無かったが、



3年溶接科 塙和樹

6MPaで漏れてしまった。訓練では1度も漏れたことのない箇所からであり、悔しい思いをさせてしまった。閉会式では思い通りの結果を残せず悔しがる選手や、訓練の成果を発揮し納得のいく成績を残せた選手、様々な表情の選手たちを、間近で見ることが出来、「来年は自分も名前が呼ばれるように頑張ります」と、すでに来年の大会へ気持ちが向かっていた。

私は10月10日に行われた、第63回技能五輪全国大会「電気溶接」職種に出場しました。私は2年生になつてから技能五輪訓練と部活動を並行して行ってきました。心身ともに楽しなものではありませんでしたが、技能五輪に挑戦したことで大きく成長できたと感じています。訓練では目標達成のためにやるべきことを着実にやってこれたと思っております。本番では初めての全国大会への出場ということで不安もありましたが、日立グループの先輩方と同じグループということもあって緊張しながらも最後まで楽しんで競技することができました。出来上がった課題はこれまで自分がやってきたことを全部出し切り、悔いのないものを提出できました。今大会に出場す



技能五輪全国大会(競技中の塙さん)

るに当たり、ご指導いただいた先生方や応援してくださったすべての方々に感謝申し上げます。また、これから事業所に行っても技能五輪に挑戦させていただけるので自分の中で今以上に求めて、高い目標を達成できるように努力していきたいと思っています。

オープンスクールを開催

多くの中学生が来校

7月から10月にかけて、全4回のオープンスクールが無事に終了しました。今年も北は青森県、南は大分県と全国各地から見学に来ていただいた。オープンスクールは文字通り「学校を開いて」見学者を迎えるものだが、学校説明会も併せて実施している。5月から、熊本県・青森県・山口県の3県を含む重点PR地域や、いくつかの事業所のご協力を得て開



オープンスクール

催した。

精いっぱい広報活動に取り組んでいるが、いまだに「こんな学校があったなんて」との声をいただくことがある。情報があふれる社会の中で、引き続き必要とする人に届く広報を続けたい。日工同窓会会員の皆さまも、お近くに小中学生がいたら、ぜひ、「日立製作所の学校があるの、知ってる？」と一声かけていただくと嬉しい。

エリック シュラング先生

(英会話)ご逝去



生徒、職員に愛され、いつも元気で笑顔が絶えなかったエリック シュラング先生が10月8日に永眠されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

第51回「わが宿の集い」開催される!

《ご家族も参加しバーベキュー・バイキング》

第51回「わが宿の集い」は、猛暑も一段落した9月20日(土)の午後、同窓会館にて開催した。

最初に参加者全員で記念撮影。続いて小室企画小委員会主査(59卒)に代わり上野(54卒)が冒頭の挨拶を行い、濱島民治氏(42卒)の乾杯の音頭で懇親会の開始となった。宴たけなわとなった頃、参加者全

員から自己紹介を兼ねて、近況のご報告をいただいた。

皆さん、まだまだお元気で仕事を続けられている方が多く、生涯現役が現実となっている様子でした。

前回に続き、今回もバーベキューなどたくさんのおいしい料理を、小室料理長他の役員の皆さんに早朝から作っていただき、プロ並みの味を参加者全員で堪能した。

今回は参加会員の奥様、娘さんにも同伴していただき、日工同窓会の良さをご家族の皆様にご理解いただく良い機会となった。

今回も関正治氏(43卒)からノートパソコンの提供があり、盛大な抽選会を行い、海野浩安氏(70卒)が見事当選した。最後は、箭内光人氏(63卒)による締めのご発声でお開きとなった。

(上野 栄一)



「わが宿」調理人。左から鈴木氏(78卒)、海野氏(70卒)、斎藤氏(64卒)、小室氏(59卒)



準備開始前のミーティング。安全とおいしさを誓い合った



屋外調理場。今回は、水道を引いて仮設流し場も設置



宴もたけなわ。席を移動してお酌し合い、はしご酒



テーブルを3卓配置。それぞれ気の合う同士で



豪華料理。煮物、焼き鳥、スモークソーセージ等和洋中折衷



永盛氏(46卒)ご家族



生田目氏(44卒)ご夫妻



濱島氏(42卒)ご夫妻

第5回グラウンドゴルフ大会開催される！

9月26日(金)、国民宿舎「鵜の岬」グラウンドゴルフ場にて第5回グラウンドゴルフ大会が行われた。
当日は、晴天に恵まれ、会員の家族(奥様)を含めこれまで最高の26人の参加となった。

グラウンドゴルフ大会は、会員の高齢化に伴い、これまで行ってきたNS会ゴルフコンペに代わる行事として2023年7月23日に第1回を開催した。

これまでの参加者は、最高で23人であったが、今回はそれを超える26人の参加があり、主催者側としては本部会員のメインの行事として定着しつつあり嬉しい限りである。

8時30分からの受付と並行して、コースの設定を行い、記念撮影の後、4組に分かれ小室企画小主査のホイスルを合図にプレーが開始された。

8ホール3ラウンドを行い、成績は次の通り。

■優勝

篠原 昭裕 (46卒)

■準優勝

大森 一夫 (55卒)

■第3位

木植登美雄 (51卒)

ホールインワン賞

大森 一夫 (55卒) 2回

■B B賞

濱島 民治 (42卒)



永盛(46卒)
ご夫妻



篠原(46卒)
ご夫妻



プレー風景

プレー後は、「鵜の岬」本館の会食場で豪華なお膳の会食と表彰式が行われた。
その後、希望者は本館最上階の天然温泉風呂に入り、プレーの疲れを洗い流し「鵜の岬」を後にした。
企画小主査 小室 道男(59卒)



「いただきまーす」



会食御膳



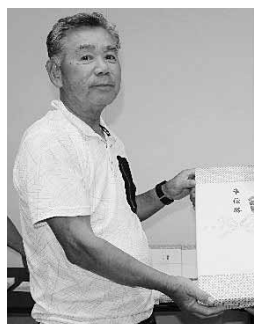
会食会場の様子



B B賞：濱島氏(42卒)



第3位：木植氏(51卒)



準優勝：大森氏(55卒)



優勝：篠原氏(左)(46卒)

49
回卒

『三九会』傘寿の集い

令和7年8月31日(日)から9月1日(月)にかけて、「いこいの村瀬沼」において第49回卒業の溶接科のメンバーが集っている「三九会」の「傘寿の集い」が開催された。

振り返ってみると、卒業以後、20代の後半ぐらいから、ずっと毎年「溶接科クラス会」として会合を重ね、途中からは、恩師の行田先生にも加わって頂いて続けてきた。しかし、日立を退職したメンバーも多くなったこともあり、60歳の定年退職を機に会の名



行田先生(前列左より3人目)と一緒に

前を変えることにした。

そこで、卒業した年の昭和39年にあやかつて、あらゆる事に感謝するという事も考慮し、「三九会」と改称してから早や19年の歳月が流れ、今年は傘寿を迎えることになった。

そこで、一区切りとして、最後の会合との位置付けで「傘寿の集い」を呼びかけることとした。

日専校2年生の時に溶接科としてスタートした時は、43人の仲間がいたが、現在わかつているだけでも、すでに10人は鬼籍に入っており、連絡の取れる20人に案内を出し、全員から返信が来た。その中には、参加したがいながら体調がすぐれず、そ

れがかなわないという方々が
多く、昨年より1人減少して
行田先生を含めて9人での集
いになった。

ただ、会合までの待ち時間には、返信された手紙やはがきを基に電話をかけたたりして一部の仲間とは、旧交を温めることもできた。

会合は、例年同様に記念撮影からスタートしたが、今回は、最後になるということで、今迄に亡くなったと消息がはつきりしている10人の氏名を逝去順に奉じて、全員で黙祷をささげてから、宴会をスタートさせた。

行田先生には、すでに傘寿

を卒業されている先輩として80歳代の人生の過ごし方を「美しい80代」と題し、生活するための心構えをしたためた色紙を各人に頂いた。

その後は、例年のごとく、各人の近況報告に華を咲かせた。その中では、よく半世紀以上も続いたものだという驚きとその絆の深さや健康に感謝する言葉が多く重ねられた。

長年、その取りまとめを自任してきた小生としては、継続して参加して協力してくれた仲間がいたから続いたわけであり、感謝するばかりである。

また、途中からメンバーに加わっていたいた行田先生には、昭和37年の溶接科の担任以来63年にわたりご指導を頂き、御礼の言葉もないという心境である。

翌朝は、前夜の余韻を胸に、これからは各々が八十路の旅をスタートさせるにあたり、お互いに健康第一で平穩な生活を送られるように祈念しながら、涸沼の名産であるシジミを手土産に帰路についた。

(鈴木利文)



56
回
卒

「56回生G.O.f会」を開催

5月15日(木)に56回生Golf会を開催しました。

本Golf会は、2020年4月17日に勝田ゴルフクラブにて第14回を開催予定でしたが、新型コロナ禍

により残念ながら中止しました。

新型コロナナも収束してきたので、新たにメンバーを再編し、第1回として8名の参加を得て金砂郷カントリークラブで再開しました。

天候にも恵まれて、久しぶりの顔
合わせで、プレー中の会話も弾み楽
しくプレーできました。

結果は、助川静君が優勝でした。次回
は11月に開催することを決めて終
了しました。(高岡 秀美)

(高岡 秀美)



63
回
卒

日立市民美術展覧会で
大町義典君が市長賞受賞

9月6日(土)～14日(日)にかけて
日立市民の美術の祭典「第61回市美術
展覧会」がシビックセンター他で
開催された。

洋画、日本画、書道、デザイン、写真、彫刻、工芸、中学生の8部門に分かれ、446点の作品が展示された。

洋画部門では、我ら63卒の大町義典君の「上磯の朝」が見事に市長賞を受賞した。



荒々しい海の臨場感あふれる力強い作品となっている。

大町君の才能が日立市民に認められたものであり、我ら63卒同期生として誇りに思う。

この受賞を機会に更なる精進を重ね、上を目指した活躍を期待したい。

(箭内 光人)

66回卒

都市対抗野球応援団結成

日立製作所が3年振りに都市対抗野球出場が決まり、それに伴い、以前も日立製作所野球部応援団長としてチームを鼓舞していた66卒同期の後藤紀昭君が捲土重来を果たして日立製作所野球部応援団長に返り咲き、66卒の有志がスタンドに駆け付けた。早朝6時前に応援バスに乗り、途中首都高で渋滞に遭ったものの一路東京ドームを目指した。到着後、後藤団長と必勝を誓い合い、独特の緊張感の中、徳永社長が投げた始球式



左より佐藤君、後藤団長、伊藤君、杉田君

のボールが小川市長の肩口に当たるハプニングはあったが、応援団のエール交換後、試合が開始された。初回に西部ガスに先制点を奪われ、3回にも追加点を取られる苦しい展開に。後藤団長を中心とした大応援団が一糸乱れず声を枯らして声援を送るも、6回にレフトスタンドに痛恨のホームランを打たれてしまう。それでも8回に満塁とし、一打同点の大チャンスを得るも、宮選手が三振に倒れ万事休す。9回にはダメ押しの4点目を奪われ、残念ながら初戦突破はならなかった。

(田中 尚)

同期会活動報告 (奇数卒回)

(9月12日(金))に行われた2025年度前期「運営会議」で報告されたものです。

◆41卒 (渡邊 康男)

特に報告する活動はありません。最近41回卒の物故者が多く寂しい限りです。

◆43卒 (綿引 明)

43卒の公式行事はありません。公開の同好会のゴルフは、春5月8日に実施済み、秋は10月9日に予定、場所はグランドスラムCCです。年々参加者が減少し、現在は6人程度です。

幹事は、菅野洋・沼館功です。同期の希望者を待っています。

◆45卒 (田所 賢二)

- ・懇親会等の全員対象の行事は終了としている。
- ・幹事会は年2～3回情報交換のため実施。
- ・同期会ゴルフは毎月1回実施してきたが、高齢化などの理由で参加者が少なくなってきたため「同期会ゴルフ」としての開催は9月をもって終了することとした。

◆47卒 (川村 豊)

47卒有志4人(瀬谷武司さん含む)はミニ忘年会とミニ暑気払いをやっており、直近では2025年7月17日(木)に大塚駅東口に集合し、楽しい時間を過ごした。そこで卒回代表者川村と瀬谷さんで話し合い、47卒

は空席にすることを事務局へ報告することに決定した。

◆49卒 (山崎 輝雄)

2月12日(水)

日立駅前『あもん』 幹事会7人出席、49卒傘寿の集い打合せ

3月13日(木)

日立GC サンキュウ会ゴルフコンペ (9人参加)

5月8日(木)

日立GC サンキュウ会ゴルフコンペ (9人参加)

5月22日(木)

日立駅前『あもん』 幹事会7人出席、49卒傘寿の集い打合せ

7月17日(木)

日立GC サンキュウ会ゴルフコンペ (9人参加)

8月21日(木)

日工同窓会館 幹事会7人出席、49卒傘寿の集い打合せ

日専校49卒『傘寿の集い』の決定事項

①日時：令和8年2月6日(金)

11時30分～15時

②場所：ホテル テラス ザ スクエア日立

(16頁へ続く)

(15頁の続き)

◆51卒(金澤 和彦)

- ・2年毎に1泊で実施していた同期会は、本人・家族を含めて健康不良などで1泊での開催は厳しくなり検討中。
- ・2023年10月の同期会以来活動はしていないが幹事を中心にグループLINEで情報交換をしている。

◆53卒(榊原 愛正)

- ・毎年行われている1泊懇親会は、今年度も実施予定。バスを利用しての懇親会を考えていたが、できるだけ参加しやすい場所として、前回と同じでも良いのではとの提案があり検討したい。
- ・ゴルフ同好会の「53会」(ゴーサン会)は毎月実施。以前に比べ参加者が少なくなってきた。体力の低下か?

◆55卒(豊田 英雄)

55卒同期会は日立地区:3人、水戸地区3人の計6人の幹事で運営。

3/22(土):幹事(6人)による、2024年度活動の反省会を実施(於:日立駅近傍居酒屋)
2024年度幹事から2025年度への幹事引継ぎ(正):水戸地区、(副):日立地区担当で運営

5/9(金):幹事会(2025年度活動計画打合せ)
(於:奥久慈観光ホテル、一泊)
第11回同期会開催を計画(実施時期:10/21、場所:ホテル テラス ザ スクエア日立に決定)

9/1(月):第11回同期会開催案内状送付

9/10(水):幹事会(第11回同期会の中間参加状況、予算、ホテルへの依頼事項、その他確認)(於:日立駅近傍居酒屋)

9/21(日):幹事会で第11回同期会について下記(予定)を確認する。(勝田駅周辺を予定)

①未返信者のフォローアップ、最終参加者

②幹事の役割決定、当日のタイムスケジュール等

◆59卒(小室 道男)

2024年11月9日(土)

河原子 いりぼし旅館にて同期会29人参加。

2025年5月22日(木)

東京品川 屋形船「船清」にて同期会23人参加。

2025年11月9日(日)

鵜の岬にて古希祝い、30人参加予定。

*本年より相互連絡を30人がLINE登録して取り合っている。

◆61卒(児島 強)

(1) 2024年10月18日(金) 入学50年記念 一泊同期会

於:横川鉦泉 中野屋旅館

参加人数:27人、2次会も含め大いに盛り上がる。
次回は、古希・70歳で再会を誓う。

(2) 2024年11月30日(土) 幹事会

於:シビックセンター705室 出席幹事10人
一泊同期会の反省会 前回より、参加人数が減少し30人を切ったことが反省

(3) 2025年3月22日(土) 第1回幹事会

於:シビックセンター504室 参加幹事9人
次回古希・入学50周年記念同期会の計画

(4) 2025年6月21日(土) 第2回幹事会

於:多賀 居酒屋「漁鮮水産」参加幹事8人
次回古希・入学50周年記念同期会の計画

(5) 2025年9月19日(金)(予定) 第3回幹事会

於:日立 居酒屋「吉兆」参加幹事7人
次回古希・入学50周年記念同期会の計画と本部同窓会行事への参加について
(グランドゴルフ大会、ボランティア活動、「わが宿の集い」等)

◆63卒(箭内 光人)

報告事項なし

◆65卒(堀江 弘昭)

報告事項無し

◆67卒(橋本 英憲)

(1) 卒業時の各クラスと同期会幹事のLINEグループは継続運用中。

(2) 2025年7月8日(火)に「常陸之國 もんどころ 勝田駅前店」で幹事会を実施。9人参加。
幹事会は毎年行うことにしている。

(3) 次の同期会は人生の節目となる65歳頃に実施予定。

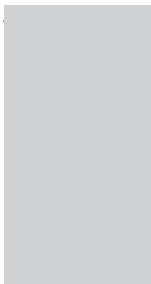
以上



日専校歴史写真[21]「成沢旧木造校舎さよなら会」1983(昭和58)年



1983(昭和58)年1月 旧校舎さよなら会



「日専校整備五カ年計画」が進行する過程で、いよいよ二代目の成沢木造校舎が解体されることになった。1983(昭和58)年1月、旧校舎さよなら式典が、学校と日工同窓会の主催で行なわれた。

1940(昭和15)年に建設され、芝内から移転以来43年、5千5百名の卒業生を送り出した二代目の校舎との別れを惜しんで、式典からパーティーへと、多数の関係者、同窓会員の交歓が行なわれ、最後には、寮歌、校歌の大合唱となった。

※本連載では日工同窓会報(記念会報含む)から引用する場合があります



【生徒教室】「サイン、コサイン、タンジェント」先生の声が忘れられない



【職員室】石油ストーブで暖房するのものがいい



【校長室】生徒はとても入室できない場所だった



【昇降階段】【二階廊下】ここには泣き笑いの青春がある



【体育館】入学式や卒業式も挙行された時代もあった



【ユニークな階段教室】卒業式が挙行された時代もあった

会員の消息

◎結婚

おめでとう
ぐさいます

堤 兼志氏(97卒・佐和) 25・7・7

大平 梓夏さん(旧姓・鈴木) 105卒・那珂 25・7・12

馬目 翔海氏(104卒・日立) 25・7・27

大窪 淳史氏(105卒・日立・バウ) 25・8・7

紗夏さんと

◎定年退職

ご苦労さまでした

鈴木 義広氏(69卒・日立) 25・7・31

井坂 友巳氏(69卒・佐和) 25・7・31

中城 広紀氏(69卒・日立) 25・8・29

高野 光晴氏(69卒・佐和) 25・8・29

阿久津 明氏(69卒・水戸) 25・8・29

佐々木 康二氏(69卒・日立) 25・8・29

渡辺 博之氏(69卒・日立) 25・9・30

本間 悟氏(69卒・日立) 25・9・30

会田 文幸氏(69卒・日立) 25・10・31

平野 弘行氏(69卒・日立) 25・10・31

◎退職
小柳 隼人氏(103卒・佐和) 25・6・30

綿引 淳一氏(77卒・佐和) 25・6・30

高橋 慶次氏(106卒・日立) 25・7・31

黒尾 勇介氏(88卒・水戸) 25・8・29

◎結婚

藤久 明哲氏(98卒・佐和) 25・9・30

横島 駿氏(99卒・郡馬) 25・9・30

河野 海大氏(103卒・那珂) 25・9・30

加藤 光河氏(108卒・土浦北) 25・9・1

土浦北支部↓下館支部へ

◎職員変更

◎正会員

沼尻 篤氏(69卒・佐和) 25・9・1

◎本部会員

池田 武男氏(32卒) 25・3・21

石井 繁六氏(40卒) 25・5・25

鈴木 秀彦氏(58卒) 25・8・4

鶴岡 重雄氏(42卒) 25・11・5

渡邊 康男氏(41卒)

◎ご家族逝去

お悔やみ申し上げます

水沼 宏光氏(93卒・佐和) 25・7・13

桑野 健次氏(78卒・佐和) 25・7・26

國分 泰良氏(93卒・水戸) 25・9・19

前号のお詫び訂正

◆前号470号表紙の1段目18行目に誤字がありました。謹んでお詫び訂正いたします。

(正) 避難
(誤) 非難

NPO法人 日立理科クラブ



科学創造立国日本の将来を担う青少年の理科学離れは深刻な社会問題となっています。この状況を打開するため、日立市と日立製作所の支援を得て「日立理科クラブ」を創設致しました。日立理科クラブは、ボランティア精神に基づく活動を基本とし、その人材資源をフル動員して日立市をモデルとした子どもたちの理数教育支援を継続的に展開しています。日立市教育委員会のご指導の下に、子供理数教育支援を日立市の全小中学校へ展開し、子どもたちの学力を向上させ、ひいては理数科モデル都市・日立市の活性化に貢献するものと思います。なお、近い将来には茨城県をはじめとして、日本の青少年の理数教育の振興に資することを目指します。

「日立理科クラブ」会員募集のお知らせ

＜基本方針＞

- ①教育の現場に根ざした小中学生の理数学力の向上支援
- ②科学大好き・モノづくり大好き少年を育てる環境の整備支援
- ③地域への社会貢献と相互交流・研鑽



日本の将来を担う青少年の理数離れという深刻な社会問題を打開するため、日立市と日立製作所の支援により、2009年に創設された「日立理科クラブ」は、ボランティア精神に基づく活動を基本とし、企業OBなどの人材を動員して、小中学生の理数教育を支援しています。小中学生の好奇心を引き出し、「科学の不思議」「モノづくりの感動」を体験させる教育支援を目的とし、約100名のクラブ会員には日立グループのOBやOGも多く含まれています。「未来を拓く人づくり」を基本理念に掲げる日立市教育委員会と連携しながら、日立市の全小中学校へ活動を展開し、子どもたちの学力を向上させ、日立市の活性化に貢献しています。

この度、日立理科クラブから日工同窓会へ「モノづくりの匠として、ぜひ日工同窓会にも参加してもらいたい」という要請をいただきました。

日立市と日立製作所は、日立市全

日立理科クラブ

Hitachi Science Club (HSC)

〒316-0064 日立市神峰町 1-6-11

日立市教育プラザ 2階

E-mail:hsc-rikakurabu@net1.jway.ne.jp

http://hitachi-rika.sakura.ne.jp/



詳細について、日立理科クラブのホームページをご覧ください。入会をご希望される方やご興味のある方は、日工同窓会事務局へご連絡ください。

体の活性化およびすべての人が豊かに生活することのできる安全・安心なまちの実現をめざし、2023年に「次世代未来都市共創プロジェクト」を始動しました。日専校も日立理科クラブと合同で、小中学校への出前授業参加を計画しています。支援活動の中に、「ものづくり工房・工作体験教室」もありますので、製造部門で長年ご活躍された同窓会員の皆さんの積極的な参加をお願いします。



支部役員になり早数年。「本部もやってみるか？」とお誘いいただき、半年ほどではあるが本部広報

の業務に携わっている。本部の組織もわからず勢いのみで入ってみたが、同窓生の為にどれだけの人々がどれだけを費やしているのかが少しずつではあるが見えてきた。▼同窓会のありがたみというものはなかなか分かり辛いものもある。ただ、諸先輩方の思いというものは至ってシンプルに「同窓生への思いやり」ではないだろうか。(芳)

11月2日、カナダのオンタリオ州でMLBワールドシリーズが行われました。勝利は3勝3敗でこの日が最終戦。唯一アメリカ外に本拠地を持つブルージェイズとLAを本拠地とするドジャースの試合となります。私は昼間からビール片手にアマプラで観戦。試合は延長11回の末スコア5対4のドジャースの勝利で幕を閉じました。私はドジャースファンですが勝利の瞬間ポロ泣きさせていただきました。山本投手はじめ日本人選手の活躍もあり歴史的勝利の瞬間に生きていて良かったです。今年のWSもたくさんの感動と元気をいただきました。(斉健)

